

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター オリーブ		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 3日		～ 令和7年3月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	令和7年3月 3日		～ 令和7年3月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士、理学療法士、看護師、保育士が職員として在籍しているため専門的な支援が継続出来る。 情報共有にて支援の統一が行える。	児発と放課後等デイサービスが併設されている事から異年齢とのコミュニケーションを積極的に促している。	年間行事の中で放デイ利用児、児発利用児・保護者との交流の機会を多く企画して行きたい。 (交流会にて小川たかひろさんを講師とし親子でのワークショップを企画したい)
2	保育園への送迎時に園での困り感などへ専門的な視点でアドバイスが行える。	利用児ひとり、一人のニーズを明確にし多職種にて支援を検討している。	
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族への支援プログラム(ペアレントトレーニング等)、勉強会の開催が企画できていない。	年間行事での交流会等に勉強会を設定し開催期間検討している。	開催内容についての保護者からの要望聞き取り、情報収集。
2			
3			